デジタル®ミネクト®
箱粒剤

NEW
高密度は種にも
使用可能！

箱処理1回で、
葉いもち・穂いもち・主要害虫も。

幅広い効果が長く続く！

「WCS用稲」
でも使用
できます。

1kg入　3kg入

協友アグリ株式会社

Ⓡはシンジェンタ社の登録商標

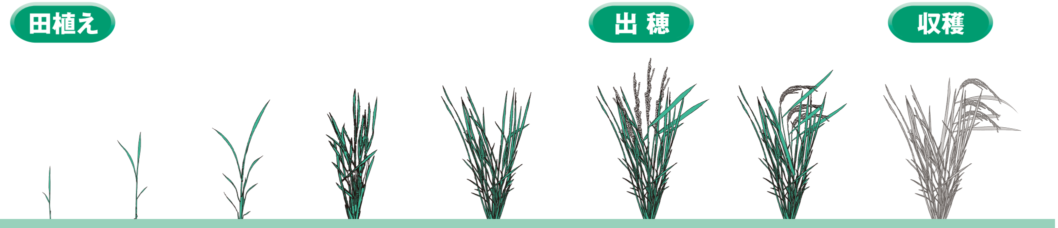
デジタル®ミネクト®箱粒剤

農林水産省登録 第23722号　有効成分：シアントラニリプロール…0.75%　ピロキロン…10.0%　毒物及び劇物取締法:非該当

特長

- **新規殺虫成分シアントラニリプロールと、いもち病防除に実績のある有効成分ピロキロンを組み合わせました。**
- **幅広い主要害虫といもち病に高い効果示す、水稲育苗箱専用の殺虫殺菌剤です。**
- **独自の溶出制御技術をさらに改良。ピロキロンが葉いもちから穂いもちまで※カバーします。**

育苗箱1箱あたり **50g** 1回処理



いもち病防除（葉いもち・穂いもち）

有効成分ピロキロンが、より長期にわたり安定的（約3カ月）

イネミズゾウムシ　ニカメイチュウ　ツマグロヨコバイ　イネドロオイムシ　イネツトムシ　イナゴ類 など

※発生状況により、穂いもち防除が必要な場合があります。

■ 適用病害虫と使用方法

2021年11月現在

<table>
<tr><th>作物名</th><th>適用病害虫名</th><th>使用量</th><th>使用時期</th><th>本剤の使用回数</th><th>使用方法</th><th>シアントラニリプロールを含む農薬の総使用回数</th><th>ピロキロンを含む農薬の総使用回数</th></tr>
<tr><td rowspan="4">稲（箱育苗）</td><td rowspan="2">いもち病
イネドロオイムシ
イネミズゾウムシ</td><td>育苗箱
（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）
1箱当り50g</td><td>移植10日前
～移植当日</td><td rowspan="6">1回</td><td rowspan="4">育苗箱の上から均一に散布する</td><td rowspan="6">1回</td><td rowspan="4">3回以内
（移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）</td></tr>
<tr><td>高密度には種する場合は、1kg/10a
育苗箱
（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）
1箱当り50～100g</td><td rowspan="3">移植3日前
～移植当日</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イナゴ類
イネツトムシ
ツマグロヨコバイ
ニカメイチュウ
イネヒメハモグリバエ
ヒメトビウンカ
コブノメイガ
フタオビコヤガ</td><td>育苗箱
（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）
1箱当り50g</td></tr>
<tr><td>高密度には種する場合は、1kg/10a
育苗箱
（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）
1箱当り50～100g</td></tr>
<tr><td>直播水稲</td><td>いもち病
イネミズゾウムシ</td><td rowspan="2">1kg/10a</td><td>は種時</td><td>は種同時施薬機を用いて土中施用する</td><td>3回以内
（は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内）</td></tr>
<tr><td>稲</td><td>いもち病
イネミズゾウムシ
イネドロオイムシ</td><td>移植時</td><td>側条施用</td><td>3回以内
（直播でのは種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内）</td></tr>
</table>

■ 使用上の注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使い切ってください。
- 育苗箱（30×60×3cm、使用土壌約5ℓ）1箱当りに乾籾として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、軽く灌水してから移植してください。
- 葉に付着した薬剤は払い落とし、軽く散水してください。
- 移植時側条施用に使用する場合は、専用の移植同時施薬機を用いてください。
- ヒメトビウンカに対しては残効性に注意してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などの場合には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 本剤処理により、時に生育初期の葉に先枯れ等の薬害を生じることがありますが、実用上の問題はないことから通常の管理を維持してください。
- 本田の整地が不均整の場合は薬害を生じやすいので、代かきは丁寧に行ってください。
- 移植後、少なくとも3～4日間は湛水状態を保ち、落水、かけ流しはしないでください。なお漏水の多い水田での使用はさけてください。
- 移植後、高温、あるいは低温による生育不良等が予想される場合には、薬害が助長されるおそれがあるので使用をさけてください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 使用後は水管理に注意してください。
- 器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

JAグループ
農　協｜全農｜経済連
全農は登録商標　第4702318号

協友アグリ株式会社
東京都中央区日本橋小網町6-1
https://www.kyoyu-agri.co.jp

2021年11月作成東宣P1202111006